

令和5年度可燃ごみ組成調査の結果について

令和5年10月に可燃ごみの組成調査を行いました。

組成調査では、無作為に抽出した294世帯から回収した可燃ごみ袋を開き、中に入れられたごみの組成を調査しました。

可燃ごみの内訳(重量比)は、以下のとおりです。

その他 3%

燃えないごみや、ペットの糞など

草木類 14%

刈草、落ち葉など

紙類等 34%

新聞や雑誌など、リサイクルできる紙(古紙)は大切な資源。古紙は可燃ごみに混ぜないで、古紙回収に出しましょう。

プラスチック類 15%

「プラマーク」が付いている容器や包装は、リサイクルできます。

きれいに洗いビニール・プラスチック容器包装の日に出しましょう。

生ごみ類 34%

まだ食べられそうな、手つかずの食品もたくさん捨てられていました。「もったいない」を合言葉に、食品ロスを減らす工夫をしましょう。

こんなごみは「可燃ごみ」で捨てないで!

今回調査したごみ袋の中には、使い捨てカイロや空き缶、電子機器、乾電池等が入っていました。

金属やガラスなど、燃えない素材の製品は「燃やさないごみ」で捨てましょう。

乾電池は、使用済み乾電池回収ボックスに入れましょう。

可燃ごみの指定ごみ袋に入れるのは**燃える素材のごみだけ!** **リサイクルできるものや、燃えないものは入れないでね。**

生ごみをたい肥化して、ごみを減らそう!

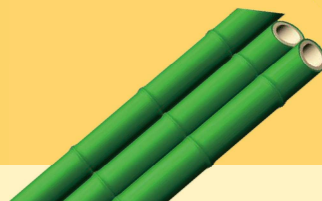
バイオ式生ごみ処理容器貸し出し

市販の生ごみ処理機を買う前に、試しに試してみたい方へ、2種類の生ごみ処理容器を最大3か月貸し出しています。



竹チップコンポストを無料配布中!

環境課窓口で竹チップコンポストセットをお渡ししています。(11月29日まで。生産や予算の都合で予告なく配布を休止・終了する場合があります。)



バイオ式生ごみ処理容器購入費半額補助

生ごみ処理容器購入費の1/2以内(上限2万円)を補助します。



令和5年度の可燃ごみ袋有料化の収支はこのようになりました。

項目		決算額
収入	家庭系可燃ごみ袋販売収入	97,958千円
支出	必要経費	
	指定ごみ袋作成費	20,543千円
	取扱店への販売手数料	4,992千円
	指定ごみ袋保管・配送委託料	3,639千円
	可燃ごみ組成調査委託料	2,683千円
	その他(ボランティア袋作成費等)	789千円
	活用事業	
	市民提案型ごみ減量活動等補助金	1,376千円
	不法投棄対策	1,764千円
	情報発信事業	1,095千円
	環境保全指導員	3,118千円
	古紙集団回収事業の拡充	9,102千円
	生ごみ処理容器普及事業	158千円
	ごみ分別アプリ配信事業	1,360千円
	ごみ収集拠点設置等補助金	565千円
	その他	3,305千円
支出計		54,488千円
収支		43,470千円

端数処理により、内訳と合計が一致しない場合があります

可燃ごみ袋の販売収入は、袋の作成経費や取扱店への販売手数料などの必要経費を差し引いた後、古紙回収に取り組む住民団体への補助金などごみ減量のための様々な環境施策に活用しています。

令和6年4月～令和6年5月までの
一日1人あたりの可燃ごみ排出量は、平均すると**416.2g**
令和7年度の目標数値(**326g**)まであと**90.2g**です!

[令和6年8月発行]

〈問い合わせ先〉〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9 木津川市役所 市民環境部 環境課
TEL:0774-75-1215(ダイヤルイン) FAX:0774-72-3900 Mail:machibika@city.kizugawa.lg.jp

※この「MOTTAINAI便り」は、循環型社会推進事業の一環として、ごみの「減量」「再資源化」につながる身近な情報などを隔月で市民の皆さんにお知らせする情報紙です。不要になりましたら、「雑がみ」として古紙回収にお出しいただき、リサイクルにご協力くださいますようお願いいたします。